

北薩感染症情報

2023年第31週(7月31日～8月6日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル		注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数												
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	71	19	2.71	↓	—	26	19	3.80	↓	—
	COVID-19	—	—	—	167	163	23.29	↓	—	173	132	26.40	↓	—
小児科定点	RS	—	—	—	3	4	1.00	↗	—	47	35	11.67	↓	—
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	1	1	0.25	→	—	1	2	0.67	↗	—
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	5	2	0.50	↓	—	—	—	—	→	—
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	9	11	2.75	↗	—	1	5	1.67	↗	—
	水痘	2.0	1.0	1.0	—	—	—	→	—	1	—	—	↓	—
	手足口病	5.0	2.0	—	6	1	0.25	↓	—	4	—	—	↓	—
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	突発性発疹	—	—	—	1	2	0.50	↗	—	1	—	—	↓	—
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	19	9	2.25	↓	◎	16	15	5.00	↓	◎
眼科定点	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	1	0.25	↗	—	—	—	—	→	—
	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
基幹定点	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	10	10	10.00	→	◎	—	—	—	→	—
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
インフルエンザ 入院報告	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
報告数合計		—	—	—	292	223	—	↓	—	270	208	—	↓	—
<p><注意報・警報レベル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川薩保健所管内 ヘルパンギーナ(警報レベル), 流行性角結膜炎(警報レベル) ・出水保健所管内 ヘルパンギーナ(警報レベル) <p><全数報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川薩保健所管内 なし ・出水保健所管内 なし <p><インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川薩保健所管内 なし ・出水保健所管内 なし 														

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				22W	23W	24W	25W	26W	27W	28W	29W	30W	31W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	3000/10.00	10.00	1.00	3.29	12.29	38.14	50.71	54.57	33.29	19.43	10.14	2.71
	COVID-19	—	—	3.43	3.71	6.71	6.00	8.86	10.14	17.29	19.86	23.86	23.29
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.50	2.50	3.50	2.00	1.25	1.75	0.75	0.75	0.75	1.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	1.25	1.25	1.25	0.25	1.00	—	0.25	—	0.25	0.25
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	—	—	—	0.75	1.25	—	—	0.25	1.25	0.50
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	1.75	4.50	2.75	3.00	1.25	2.75	3.00	3.75	2.25	2.75
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	0.75	—	0.50	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	2.50	0.50	0.50	2.25	3.50	2.75	3.00	2.75	1.50	0.25
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	0.25	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.75	0.50	1.00	0.50	—	1.25	0.50	0.75	0.25	0.50
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	4.00	8.50	8.75	23.75	18.00	22.00	15.50	9.50	4.75	2.25
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.25	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	—	2.00	1.00	3.00	3.00	—	2.00	10.00	10.00	10.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				22W	23W	24W	25W	26W	27W	28W	29W	30W	31W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	3000/10.00	10.00	0.60	2.00	3.00	3.20	2.40	2.40	3.60	8.00	5.20	3.80
	COVID-19	—	—	3.60	6.40	7.00	5.80	3.40	10.60	21.20	24.20	34.60	26.40
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	6.00	9.33	7.67	13.67	16.67	14.33	18.67	16.33	15.67	11.67
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	4.33	1.67	1.67	1.33	0.67	0.33	1.33	0.67	0.33	0.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	2.33	—	2.67	1.33	2.00	1.00	1.67	—	—	—
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	1.00	1.33	0.33	0.33	1.67	0.33	0.67	0.33	0.33	1.67
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	0.33	—	0.33	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	0.67	0.33	—	0.67	1.00	0.67	1.33	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	1.00	—	—	0.33	0.33	0.33	—	—	0.33	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	1.67	0.67	1.67	1.67	4.67	8.00	6.67	5.33	5.00
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

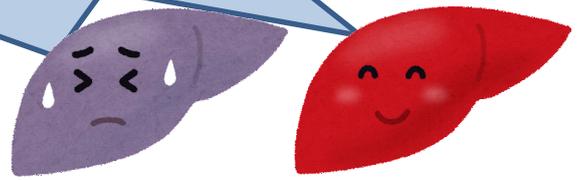
★第 31 週に関しては川薩にて流行性角結膜炎の警報が発令され、インフルエンザは警報が解除されました。ヘルパンギーナについては川薩・出水ともに警報が続いています。インフルエンザと新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖等はありませんでした。熱中症に気をつけながら、マスク着用や換気、手指消毒などに心がけましょう。

★新型コロナウイルスに関する参考資料
 新型コロナウイルス感染症 「診療の手引き」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「病原体検査の指針」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000914399.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「罹患後症状のマネジメント」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000952747.pdf>

7/24～7/30は肝臓週間でした！



肝臓週間とは...？

「日本肝炎デー(7月28日)」を含む月曜日から日曜日までの1週間を「肝臓週間」と定め、この一週間は特に肝疾患について正しい知識の普及と予防の重要性についての知識を高めることを目的として、啓発活動に取り組むこととしています。この週間を機に、肝疾患について調べたり、考えたりしてみましょう。

保健所での取り組み



例年この週間に合わせて、肝炎や肝炎ウイルス検査について広く周知するとともに、県内の保健所において休日・平日夜間にB型・C型肝炎ウイルス無料検査を実施しております。肝臓週間以外でも予約を承ることができますので、まずはお近くの保健所または保健センターに電話でご相談ください。

(対象者)

- 健康増進事業(旧老人保健事業)に基づく肝炎ウイルス検査(いわゆる「節目検診」「節目外検診」等)により、過去に肝炎ウイルスに関する検査を受けたことのある方
 - 医療保険各法その他の法令に基づく事業において検診を受ける機会のある方
- 上記を除くすべての希望者

※要予約、肝臓週間においては予約期限あり
詳しくは鹿児島県のホームページをご覧ください

肝疾患における助成制度

鹿児島県では、肝炎の治療に関する情報提供や相談ができる「鹿児島県肝炎医療コーディネーター」も養成しているんだ！
コーディネーターがいる病院はホームページに載ってるよ！



本県では、罹患者における医療費負担額を軽減するために、B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスによる肝炎、肝硬変、肝がんに対する治療費の一部助成を行っています。B型・C型肝炎は国内最大級の感染症と言われており、感染を放置すると肝硬変、肝がんと進行することがあります。助成制度を利用して十分な治療を受け、重症化を抑えましょう。対象者や申請などはホームページをご覧ください。



(対象者)～肝炎治療費助成制度～

- 県内に住所を有している方
- C型肝炎ウイルス性肝炎やB型肝炎ウイルス性肝炎の根治を目的として行われる治療(インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療、核酸アナログ製剤治療)で、保険適用となる治療を受けている(受ける予定である)方
- 医療(健康)保険に加入している方

※他の法令の規定、国または地方公共団体の負担による医療の給付が行われている場合(原爆被爆者援護法・障害者自立支援法など)を除く。

ワクチンで防げる病気があります

鹿児島県 こども予防接種週間

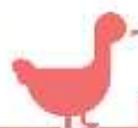
8月1日(火)～8月8日(火)

8月4日は はしかの日

麻しん風しん混合(MR)ワクチン予防接種対象者

1期 … 1歳の子ども

2期 … 今年度6歳になる者
小学校就学前1年間



【定期予防接種】

MR（麻しん風しん混合）

四種混合(ワ)万卵・百日せき・破傷風・ポリオ
BOG・日本脳炎・Hib・小児用肺炎球菌
水痘・B型肝炎・ロタウイルス

はしか、結核、急性胃腸炎、肺炎、
水ぼうそう、インフルエンザなど
の疾病を予防します。

厚労省HP「予防接種情報」→



【任意予防接種】おたふくかぜ など

- 予防接種希望者は必ず事前に予約をしてから医療機関を受診してください。
- 定期予防接種を受ける際は、市町村より届いた説明書等を必ずお読みの上お越してください。
- 母子手帳と予防接種予診票を必ずご持参ください。

この機会に知ってほしい。おとなの予防接種があります。

子宮頸がんワクチン、高齢者肺炎球菌 など

※定期予防接種として接種できます。お住まいの市町村にお尋ね下さい。

【子宮頸がんワクチンについて】厚労省ホームページより抜粋

現在、定期接種として公費で受けられるHPVワクチンは、2価ワクチン（サーバリックス）、4価ワクチン（ガーダシル）、9価ワクチン（シルガード9）の3種類があります。令和5（2023）年4月から、シルガード9も公費で受けられるようになりました。また、平成9年度～平成18年度生まれまで（誕生日が1997年4月2日～2007年4月1日）の女性で、通常のHPVワクチンの定期接種の対象年齢の間に接種を逃した方も、公費でシルガード9を受けられるようになりました。



主催：鹿児島県医師会・鹿児島県小児科医会・鹿児島県

後援：鹿児島県教育委員会・鹿児島県保育連合会・鹿児島市保育園協会
鹿児島県私立幼稚園協会・全国認定こども園協会 鹿児島県支部
認定こども園連盟 鹿児島県支部

8/1～8/8は
鹿児島県こども予防接種週間です！



鹿児島県こども予防接種週間とは...？

鹿児島県では、保護者をはじめとした県民の予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図ることを目的として「鹿児島県こども予防接種週間」を定めています。予防接種で何ができるのか、こどもの健康のために今、考えてみましょう。

予防接種を受けたい！ どうしたらいいの？

予防接種を希望する場合は、まずはかかりつけ医や最寄りの医療機関に電話等でご相談ください。



母子手帳も
忘れずに！！

そもそも予防接種とは...？

予防接種とは、病気に対する免疫をつける・免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。病気にかかることを予防したり、人に感染させてしまうのを防ぐことが主な目的です。また、重症化を防げる場合もあります。



無料なの？どれを打つべき？

ワクチンには、無料で接種できるものと、一部負担があるものがあります。国が推奨しているワクチン(定期接種のワクチン)は以下の通りです。

A類疾患(無料)

- ・4種混合 (ジフテリア+破傷風+ポリオ+百日咳)
- ・B型肝炎
- ・MR(麻疹+風疹)
- ・ロタウイルス
- ・HPV(ヒトパピローマウイルス)感染症
- ・Hib感染症
- ・BCG(結核)
- ・肺炎球菌感染症(小児)
- ・水痘
- ・日本脳炎

B類疾患(一部負担あり)

- ・季節性インフルエンザ
- ・肺炎球菌感染症(高齢者)

△詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。

中東呼吸器症候群(MERS)

《注意》 MERSが発生している中東諸国で、**患者やラクダと接触した方は、感染の可能性があるため、検疫所が最大14日間の健康監視(※)を行う場合があります。**

※健康監視とは、検疫所に毎日体温等の健康状態を報告することです。

【症状】

感染してから2～14日後に、呼吸器症状(発熱、咳、息切れや呼吸困難など)を引き起こします。感染しても症状が出ない場合もあります。

【治療】

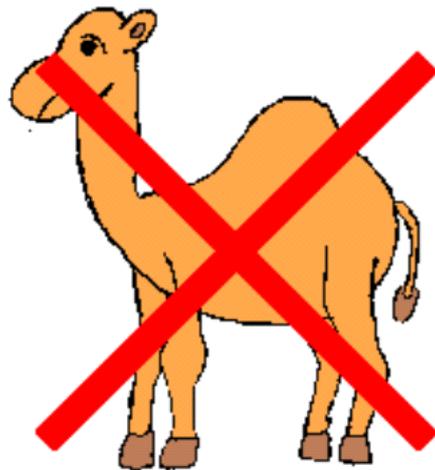
特別な治療方法やワクチンはありません。

【予防対策】

- ・一般的な衛生対策として手洗いをを行う。
- ・咳やくしゃみなどの症状を示している人との接触はできる限り避ける。

【入国時に検疫所で】

発熱や咳などの呼吸器症状がある方や、MERSが疑われる患者又はラクダと接触した可能性がある方は、必ず、検疫官にお申し出ください。



ラクダなど、動物との接触や、殺菌されていない乳や肉の喫食を避けましょう!!

【入国後症状が出たら】

入国後14日以内に、**発熱や咳などの呼吸器症状**がみられた方は、速やかに電話にて最寄りの**保健所**にご連絡ください。



【発生が報告されている中東諸国】

国立感染症研究所ホームページ

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/>

検疫所ホームページ FORTH

<http://www.forth.go.jp>

※中東呼吸器症候群(MERS)は、中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)というコロナウイルスによって引き起こされる、ヒトとラクダのウイルス性呼吸器感染症です。MERS-CoVに感染すると、重症化し、死亡率が高くなります。MERS-CoVに感染した患者の死亡率は35%です。(MERS-CoVの軽症例が現在の監視システムで見逃されている可能性があるため、正しい致死率を反映していない可能性あり)

中東諸国では2023年におきましてもすでに感染者が確認されています。中東諸国に行かれる方は感染症の中でも特にMERSにご注意ください。

海外に行かれる方は 感染症にもご注意ください！！！！



海外旅行は危険...？

海外旅行中は時差や気候の違いなどから、自覚していなくても様々なストレスを受けています。この結果、免疫力が低下し、病気にかかりやすい状況になっています。

日本で流行・発生していない感染症が広がっていることもあり、一生治療を続けなければならない病気もあります。そのような感染症を国内に持ち込んでしまわないように、海外旅行中や帰国後は特に体調管理をしっかりと行い、避けられる危険を避け、楽しい旅行にしましょう。

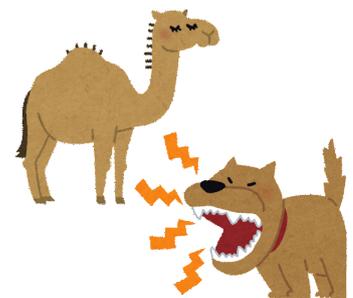
感染しないようにするには...？



①生水・氷・フルーツは避け、加熱されたものを食べましょう。



②無理のないスケジュールを心がけましょう。



③動物には近寄らないようにしましょう。



④麻薬や行きずりの性行為ははっきり断りましょう。

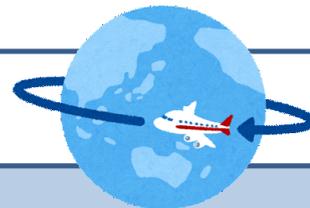


⑤服装に気をつけ、虫除けグッズを所持しましょう。



⑥マスク着用や手指消毒をしましょう。

心配なときはどうしたらいいの...？



◎空港や港の検疫官に相談

帰国時において体調に不安がある場合や動物に咬まれた、蚊に刺されたなど渡航先での出来事で健康上心配なことなど、お気軽にご相談ください。

◎かかりつけの病院や最寄りの医療機関に電話相談

帰宅後も大切な家族に移してしまわないよう、帰宅後も気をつけましょう。少しでも異変を感じた場合はすぐに電話で相談しましょう。その後について指示を受けてください。

流行性角結膜炎(はやり目)に警報が
発令されました!!!

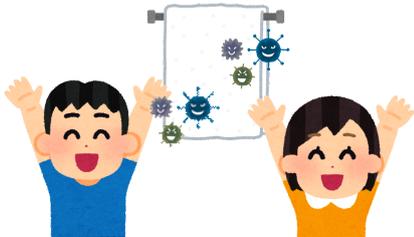
大人も多数!

流行性角結膜炎とは?

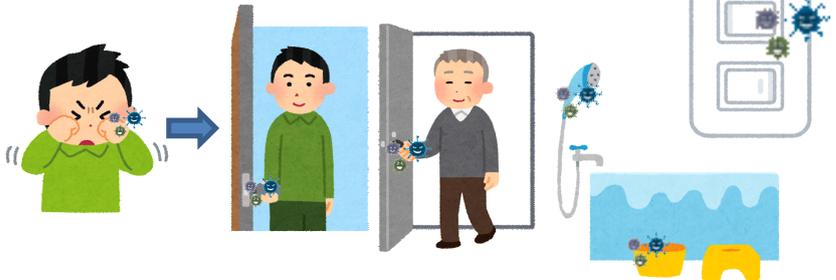
アデノウイルスというウイルスによる疾患であり、瞼が腫れたり、充血したり、涙やめやにが出たりします。夏に多く、潜伏期は8~14日です。感染力が非常に高いため、はやり目とも言われます。小児(特に1~5歳)に多い疾患ですが、成人を含む幅広い年齢層で見られます。

※潜伏期...細菌やウイルスなどの病原体が体内に侵入してから症状として現れるまでの期間

どうやって感染するの?



①タオルの共有をする



②感染部位を触った後にもものに触れ、他者が触れる

感染しないようにするには...?



①ペーパータオルや個人のタオルを使う



②共有箇所のこまめな消毒と手洗いをを行う

どんな症状が出るの? 出たらどうしたらいいの?

○症状○

- ・充血
- ・痛い
- ・かゆい
- ・まぶしい
- ・目がごろごろする
- ・流涙
- ・瞼が腫れる
- ・耳下腺の腫脹・圧痛
- ・白目がぶよぶよになる(むくむ)



○対応○

眼科に電話をし、受診しましょう。必ず、窓口で症状について伝えましょう。また、診断された場合、学校や幼稚園に電話連絡をしましょう。学校や幼稚園の場合は出席停止、職場については場合により出勤停止になりますので医師と相談の上、今後の出勤について職場と判断しましょう。